

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経内科にて、脳脊髄液検査を受けられたことのある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

新たなバイオマーカー・脳脊髄液 C-マンノシルトリプトファンの神経疾患に対する有用性評価

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座 助教 萬 翔子

3. 研究の目的

C-マンノシルトリプトファンはアミノ酸の一種であるトリプトファンにマンノースという糖が結合された糖付加修飾蛋白です。全身のあらゆる臓器に認めますが、なかでも脳に多く認められ、脳脊髄液中でも高濃度に存在します。C-マンノシルトリプトファンの生物学的意義は未だ不明であり、脳中に多く存在する理由も不明です。様々な神経疾患において脳脊髄液中 C-マンノシルトリプトファン濃度を測定し、神経疾患との関連性や、診断もしくは疾患活動性を示すマーカーになりうるかを検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2019 年 4 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの期間中に、脳脊髄液検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、髄液および血液中 C-マンノシルトリプトファン、年齢、性別、診断名、罹病期間、各疾患の重症度、既往歴、血液検査結果、髄液検査結果に関する情報です。

(3) 方法

当科では追加検査の必要性などから、脳脊髄液や血液を凍結保存しています。検査で使用しなかった余剰髄液および血液を用いて、脳脊髄液および血液中の C-マンノシルトリプトファン濃度を測定します。患者さんの臨床情報や疾患情報と併せて比較検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座 担当医師 萬 翔子

TEL : 073-441-0655 FAX : 073-441-0655

E-mail : shinnai @wakayama-med. ac. jp